

社会的事象に対して、 自分の考えをもつことができる児童の育成

-どっぷりタイムとコンパスタイムを通して-



特別研修員 社会 岩瀧 建樹 (小学校教諭)

<p>児童の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達と考えを伝え合い、自分の考えを練り直すような試行錯誤をする場面が少ない。 ・〇〇してみたい、〇〇していく、という学習の見通しをもつことが難しい。 	<p>手立て①</p> <p>どっぷりタイム</p> <p>自分の考えを広げたり深めたりすることを目的とした、社会的事象を身近に感じることができる問いの提示と、対話交流する時間の設定</p>	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どっぷりタイムを設けたことで、自分の考えの根拠を探し、友達の考えに触れ、試行錯誤し、自分の考えを広げたり深めたりすることができた。 ・コンパスタイムを設けたことで、次の学習への気付きや疑問をもち、友達と交流し、視点を明確にすることで、学習の見通しをもつことができた。
<p>教師の願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他者の考えに触れながら、社会的事象に対して、自分の考えをもつことができるようになってほしい。 ・見通しをもって学習に取り組むことができるようになってほしい。 	<p>手立て②</p> <p>コンパスタイム</p> <p>学習の見通しをもつことを目的とした、次の単元の学習内容を象徴する資料の提示と、対話交流する時間の設定</p>	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どっぷりタイムでは、異なる意見をもった児童を集め、考えを深め合うグループ編成をするなど、交流の目的を明確にした環境設定を実施する。 ・コンパスタイムでは、時代の変化だけでなく、現代まで形を変えず受け継がれているという視点も取り入れる。

単元「江戸幕府と政治の安定」(第6学年)

【手立て①どっぷりタイム】 追究の時間 「自分の考えを広げる深める」

問いの提示 社会的事象を身近に感じることのできる**問い**の提示と、対話交流する時間の設定
外様大名(武士)、百姓、町人の中で誰が最も苦勞をしたのだろうか。

①自己決定 参勤交代に日数も費用もかかる外様大名だな。

②対話交流 1番は百姓? 何で? なぜなら...

③試行錯誤 町人が1番だと思っていたけど、友達の意見を聞くと、悩むなあ。

手立て①どっぷりタイム

【手立て②コンパスタイム】 まとめの時間 「学習の見通しをもつ」

資料の提示 次の単元の学習内容を象徴する**資料**の提示と、対話交流する時間の設定
江戸時代後半の歌舞伎を楽しむ様子から、前半との変化を読み取る。

①自己決定 江戸時代前半は苦勞した人がたくさんいたのに、笑顔の人が多い!

②対話交流 歌舞伎を楽しんでいるのは、誰だろう? 楽しそうな人がたくさんいるのはなぜ?

③試行錯誤 文化や学問が発展したのかな。歌舞伎以外にも流行したものはあるか調べよう!

手立て②コンパスタイム

【目指す児童像】
社会的な事象に対して、自分の考えをもつことができる児童の育成